



12月号
2025年11月20日発行
中札内村子育て支援センター
Tel/fax 67-2397



保育園の手作りおやつを食べてみませんか？レシピもありますよ！

予約制で先着3組の親子。12月4日(木)まで、子育て支援センターへご連絡ください。

12月17日(水) 15:30～ 1食 70円

～メニュー～

*** バナナケーキ * 牛乳**

※持ち物などの詳細については、参加される方に後日お知らせ致します。

お知らせ・お願い

- 防犯対策のため、センター入り口扉を施錠をしている時間帯があります。お手数ですが、送迎や御用の際はノックをしていただきますようお願いいたします。
- 感染症が特に流行する季節となりました。事業をご利用の際は、健康観察をしていただき、発熱・下痢・嘔吐がある場合は利用をお控えください。前日まで発熱があった場合は「解熱後 12 時間以上経過後」、下痢・嘔吐は「完全に治まってから 24 時間経過して食欲や機嫌が戻ってから」ご利用をお願いいたします。その他、気にかかることがありましたら職員へご相談ください。
- 支援センターの玄関付近の扉に「お知らせボード」を設置し、利用者の皆様へお知らせしたいことを掲示しています。これからの時期は、特に感染症の流行状況や感染症の症状等のお知らせなども掲示することが多くなりますので、必ずご覧いただき、事業利用等の参考にしてください。

生活習慣と子どもの姿・・・

2歳児頃までは、食事や着脱などの場面で大人の援助が大いに必要ですが、子どもが受け身的な存在ではなく、「自分でやってみたい」「自分でできた」といった主体性を育てていくことが身辺自立につながる大切な力です。どの生活習慣における関わりでも共通して大切なことは「行為を言葉にして伝える」ことです。子どもが言葉を発しない時期からでも「ミルクを飲もうね」「オムツを替えようね」と言葉をかけてから関わることで生活に見通しをもつことができ、安心感にもつながります。「着脱」という習慣の中では、「ズボンを脱ぐこと」が子どもにとって行いやすい動きですので、そこから始めると子どもも「自分でやっている」感覚を得やすくなります。

今回は「ズボン(パンツ)を脱ぐ時」の子どもの姿や援助の目安(歩行が始まった頃)をご紹介します。意欲が湧かない時もありますので、そんな時は焦らず一緒に行いましょう。

① 立った姿勢ではいているズボンをつかみ、ヒザあたりまで大人と一緒に下ろす。

② 座ってズボンから片足ずつ抜く。(手助けしてあげながら、最後の「ズボンから足を抜く」などのできるところは子どもに任せてみる)

※「ズボン下げようね」「次は座ろうね」「足が出てくるかな？」など言葉かけをしながら行うことで見通しをもたせてあげましょう。



★絵本紹介★ ※支援センターでは絵本の貸し出しをしています。お気軽にどうぞ！

クリスマスの雰囲気を感じられる絵本の紹介です！

さくら ともこ作

「やさいのクリスマス おおさわぎ」

ひらぎ みつえ作 ★人気のしかけ絵本です★

「ねんねしたらサンタさん」「おいしい！クリスマス」

